

# みんなの環境

第15号 2008年3月19日

編集/発行 あつぎ環境市民の会

[http://www.geocities.jp/atsugi\\_kankyo/](http://www.geocities.jp/atsugi_kankyo/)

## 生物季節の記録を取りませんか

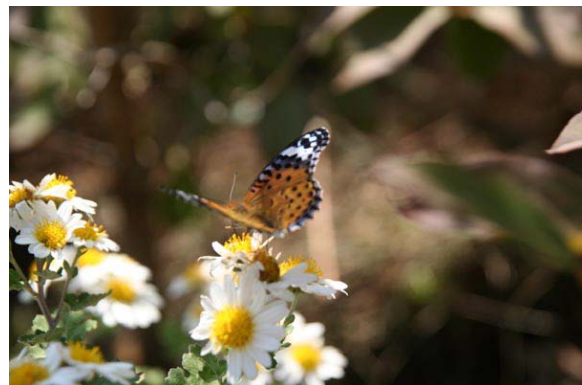
我が家の庭ではユキヤナギの芽がふくらみ、気の早いのが1, 2輪咲きました。実はこのユキヤナギ、1月の「みんなの環境展」の際ギャラリートークでお見せしたようにあの時点で緑の葉がたくさんついていました。2月の寒さを通り越してもまだ緑の葉が一部残っています。

今年は平年並みと言うことですが去年は異常に暑い年でした。地球温暖化と言われますが自然というのは一筋縄ではいかないもので冬を見れば暖冬のこともあるし、そうでないこともあり一概には言えないと多くの方は思います。そこで暮らしている私たちには、毎年の変化をその場その場で感じるだけですが生物の世界はそうではありません。

例えば冬越しをしている虫にとって0℃が耐える限界だったとしましょう。それより低い温度になったときには、次の年には見られないこととなります。逆に、たまたま暖かい地方から飛んできた虫がその冬の最低温度がある温度以上で生き抜くことができると、春から見られることになり、更に寒い地方へ分布を拡げる足がかりを得る事となります。昨年ナガサキアゲハは福島県でも見られたそうです。

数年前には珍しかったツマグロヒョウモン(写真)は厚木では普通の蝶になってしまいました。夏の暑さはしのげる場合が多いのですが、冬の寒さは生物にとって決定的な影響があります。

冒頭の我が家のユキヤナギが常緑樹化していることは、そのことによってこれに依存している他の生きものにとっても何かの影響があるかも知れません。



神奈川県から「わたしたちの環境——かながわ環境白書 平成19年版」が出ました。そこに次のようなグラフが出ています。(次頁グラフ)

1961年から2006年までの横浜地方気象台での最低気温のグラフです。見れば分かる通り最低気温は着実に高くなっています。年を取ると昔は霜の日がもっと多かったとか、雪がたくさん降ったとか思うわけですが、このグラフから納得出来ます。そして思うことはこれが生物の世界に関係ないはずはなかっただろうということで、今まで見られなかった蝶が普通になったのは当然と思うわけです。

気象台は自然の記録を着実にとり続けるのが仕事です。そしてその記録が気候の変動を証拠づけたとしてもそれが分かるのはあとから振り返ったときです。



1961~2006年までの横浜地方気象台での最低気温のグラフ

地球温暖化が大きく取り上げられ、私たちはこれと真剣に向き合わなくてはいけない今、まだまだ現実味が薄いと思う人が多いのは事実です。でも自然界の動植物たちは正直です。この生きものたちの様子に目を向けて何を語りかけているのか見て取り、聞き取る事によって感じることは多いのではないかと思います。

そこで、提案したいのが「生物季節」の記録をとることです。草木の芽吹き、開花、虫の出現、鳴き始め、渡り鳥の去来など、この厚木市内で季節に関係ある生物の様子を記録し公開して行くことです。

賛同される方は「いつ」「市内のどこで」「何を」「見た、聞いた」かをお知らせください。それらをまとめてこの会報「みんなの環境」で報告・発表していきます。

多くの目で見れば、その時々びっくりするような事であろうし、また記録の積み重ねにより気象台に負けない市民の記録になるでしょう。何よりも多くの市民が気候の変化を身近なところから感じる事につながっていくことができれば会の活動として意味あることになっていくと思われま

記録の送り先 …… FAX 046-222-2356 Eメール [kohji.aoto@nifty.com](mailto:kohji.aoto@nifty.com) へ。

(青砥航次)

### 平成20年度定時総会開催のお知らせ

平成20年度あつぎ環境市民の会定時総会を下記の日程で開催いたします。ご多忙中恐縮ですがお集まりください。

期日：平成20年4月1日（火） 19:00～

場所：厚木市勤労福祉センター2F 会議室

\*総会欠席の方は、議長に委任状を提出するか、事務局(Tel046-224-9693 山中延明)までご連絡ください。

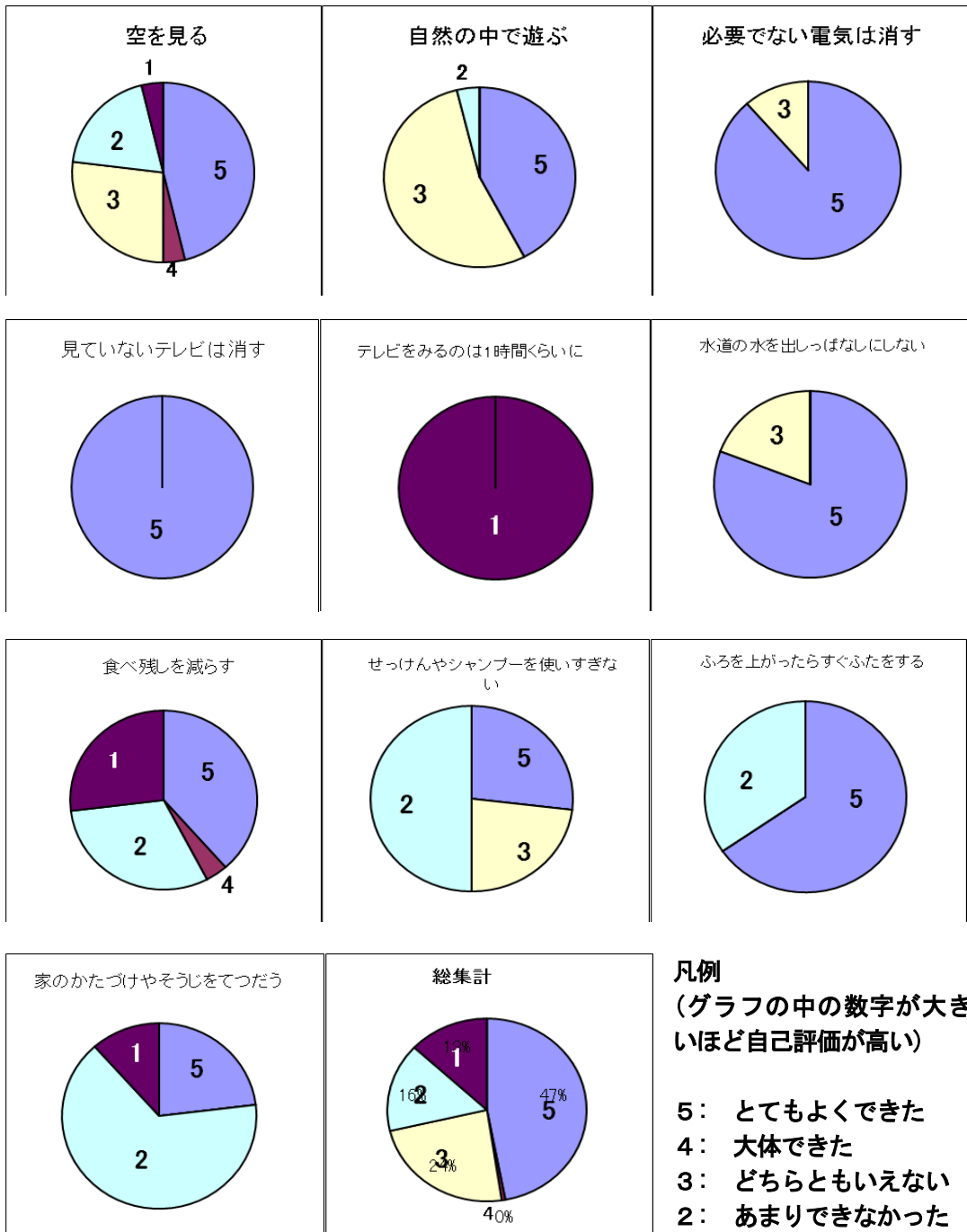
## ～私たちの活動～

## 厚木・北小5年生の挑戦

厚木市立北小学校での環境学習を支援しました。1月25日、児童との話し合いの時に「地球にやさしい生活をする名人への挑戦」という小学生用の環境保全活動の実践方法を提案しました。

これは、日常生活でできる環境保全活動を実践して自己評価するものです。下のグラフは児童たちが1週間実践して5段階評価した結果です。総集計のグラフは全員の全項目を集計したものです。全体の半数近くが5点の評価をしています。このことは環境保全意識が結構高いことを示しています。「見ていないテレビは消す」という項目は全員が5点の評価、消灯、水の出しっぱなしなども気をつけています。テレビを見る時間は全員の評価が1で、この設問は検討の余地があります。

最後にデータをご提供いただいた能登先生をはじめ諸先生方に深謝します。 (藤田 実)



## 『河川を守るには』環境学習会のお知らせ

平成20年度の新規事業として、隔月（4月、6月、8月、10月、12月、2月）の6回、“現実を知ることが環境学習の第一歩”として身近な所で起きている事を、専門家の方々をお招きし、環境学習会を行います。

第1回目の4月1日は「県央の清らかな河川を守るためできること」と題して、県央地域県政総合センター環境保全課長・青山尚巳氏から県央地区で起きている水質事故の事例などを伺います。

また、8月5日は厚木市環境総務から「厚木市の環境政策」についてお話していただく予定です。

毎月、第1火曜日（5月は第2）午後6時～9時まで環境学習会、定例会を行っておりますので気軽に参加してください。日頃、環境に関して感じていることを話あって見ませんか。

### 春の観察会のお誘い

春うらら……春たけなわ新緑の里山で気持ちよく過ごしませんか。のんびり歩きます。春の花を見たり、鳥の声を聞いたり自然が満喫出来る一日になればと思います。去年はニリンソウが花盛りでした。

○期日：4月6日（日） 雨天中止

○集合：「上荻野バス停」10時 解散「上荻野バス停」3時ころ

○案内：青砥航次

○コース：荻野公民館上分館（上荻野バス停前） →→田尻 →→打越峠 →→馬坂 →→海底（おぞこ） →→勝楽寺（田代半僧坊） →→沓掛坂 →→上荻野（途中、勝楽寺で別れて厚木方面にバスで戻る事も可能です）

○持ち物：弁当、飲み物、雨具、観察用具（メモ帳、ルーペ、双眼鏡、カメラ、図鑑などがあると便利です）

○問い合わせ、申し込み：青砥航次 FAX046-222-2356 e-mail [kohji.aoto@nifty.com](mailto:kohji.aoto@nifty.com)

### みんなの環境 第15号 2008年3月19日発行

編集・発行 あつぎ環境市民の会 代表 狩野光子

電話/FAX 046-224-5010 e-mail: [mitsuko-karino@ayu.ne.jp](mailto:mitsuko-karino@ayu.ne.jp)

製作 長岡 恂 e-mail: [jun.nagaoka@nifty.com](mailto:jun.nagaoka@nifty.com)

事務局 〒243-0817 厚木市王子2-14-3 山中延明 方

電話/FAX 046-224-9693 e-mail: [ANA40480@nifty.com](mailto:ANA40480@nifty.com)

郵便振替口座 00200-7-132779 （年会費 2000円）

(C)あつぎ環境市民の会 2008